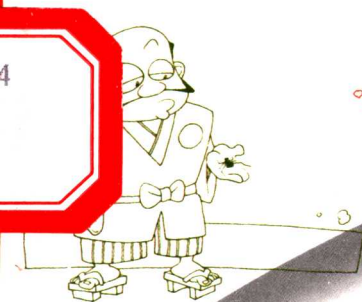
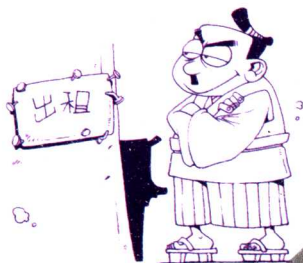


# 日语趣味阅读

赵秀娟 编著



世界图书出版公司

# 日语趣味阅读

世界图书出版公司

北京·广州·上海·西安

**图书在版编目 ( CIP ) 数据**

日语趣味阅读 / 赵秀娟 编著. —北京: 世界图书出版公司北京公司, 2004.6

ISBN 7-5062-6704-7

I.日... II.赵... III.日语-对照读物, 故事-汉、日 IV. H369.4  
中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2004) 第 031571 号

---

**书 名:** 日语趣味阅读

**作 者:** 赵秀娟

**责任编辑:** 赵大新

**装帧设计:** 北京陆联亚通图文设计有限公司

---

**出 版:** 世界图书出版公司北京公司

**发 行:** 世界图书出版公司北京公司

(地址: 北京朝内大街137号 邮编: 100010 电话: 64077922)

**销 售:** 各地新华书店和外语书店

**印 刷:** 北京世图印刷厂

---

**开 本:** 880 × 1230 1/32

**印 张:** 5.5

**字 数:** 120 千字

**版 次:** 2004 年 6 月第 1 版 2004 年 6 月第 1 次印刷

---

ISBN 7-5062-6704-7/H · 695

定价: 12.00 元

版权所有 翻印必究

## 前 言

经常有一些想学日语的朋友问我学习日语的经验。起初我常常被噎在那里，想半天不知道怎么回答。因为这个问题比较大，涉及面也较广，根本不是一两句话可以说得清楚的。在经过无数次考问之后，本人终于也总结出一大堆经验，可以如数家珍，应对自如了。而且朋友们使用这些经验往往会卓有成效，让我饭局不断，心中窃喜。比如现在要有人问我：

“日语好学吗？” 答案很简单：“好学啊。”

“如何提高日语水平？” 答案很简单：“用功呗。”

“怎么才能把日语学好？” 答案也很简单：“用正确的学习方法就是了。”

也有很无畏的宣言：

“在学习语言的路上，勇气+恒心+正确的学习方法=战无不胜！”

呵呵，说归说，那正确的学习方法在哪儿呢？

别着急，且听我慢慢道来。

一般来说，学习书面日语主要有两大块要啃：语法和单词量。而这两块恰恰都在阅读中得到最大体现。在一篇生动有趣的妙文中记住陌生单词的几率和数量肯定要远远大于啃上两个小时枯燥无味的词汇书。而且你如果很想搞清楚那篇文章中漂亮迷人的美眉对邻座的酷哥说了一句什么话，那不管这句话的语法有多复杂，你也会可着劲儿翻一大堆书把它查出来的，对不对？

就这样，一篇文章中，如果每个单词都认识，并且每个句子的语法都弄清楚的话，那还有什么不懂的？你的日语水平想不提高也难啦！所以不管在什么书面考试中，阅读这部分的分数总是

远远超过其他部分，它可是影响到你能否顺利通过的关键，丢之可惜啊！

总之一句话，学好日语，先要攻克阅读这一关。而攻克的关键就是大量阅读。当然不是倡导你去啃那些单调枯燥的厚砖头，因为这样很容易把你对日语的兴趣一网打尽。慢慢来嘛，要知道初学的时候保持兴趣是至关重要的，所以要先从有趣的短篇和幽默小文章着手，把它们当做尝试对象，仔细分析，充分琢磨，让自己对日语保持兴趣并且培养能力，然后循序渐进。坚持一段时间之后，你就会发现，那些以前让人一看就头疼的大砖头现在已经变成小石块啦！对啦，一切就这么简单！

怎么样？如果你下定了决心要学好日语，那么带着勇气和恒心，来吧！

## 内容简介

本书内容主要包括由各种精彩幽默、童话寓言、民间传说以及日本经典文学作品等丰富素材组成的小故事，旨在通过对这些轻松而有益的材料阅读，使读者在增强对日语的学习兴趣的同时，迅速提高日语阅读水平。

内容主要分为五大部分：

**第一部分** 暴笑幽默词典：搜罗大量日语古今笑话，轻松活泼，寓学于乐，幽默百分百！

**第二部分** 精彩故事选摘：精心选摘了很多日本民间故事以及世界著名童话的片段，温馨回忆尽在其中！

**第三部分** 古今智慧集锦：选取日语版的中国古代成语故事，重新体味古代仁人儒士的睿智风范！

**第四部分** 文学经典汇粹：收录日本近现代文学主要代表作的名篇名段，是了解和鉴赏日本近现代文学的捷径！

**第五部分** 附录：包括日语中的常用谚语、日本的节假日以及日本文学中的名家名著三部分。

# 目 录

- 第一部分 暴笑幽默词典 ..... (1~54)
- 第二部分 精彩故事选摘 ..... (55~102)
- 第三部分 古今智慧集锦 ..... (103~132)
- 第四部分 文学经典汇粹 ..... (133~152)
- 第五部分 附录 ..... (153~163)

**第一部分 暴笑幽默词典**







# 1. 星取り.

ある夜のこと、お寺の庭で、小僧さんが、長い竹竿を、  
あつちこつち振り回しておりました。

和尚さんがこれを見つけて、

「これこれ、そこでなにをしているのじゃ……。」

と聞きますと、小僧さんは、

「お空の星が欲しくって、打ち落とそうとしているのでござ  
いますが、一つも落ちてまいりませぬ。」

すると、和尚さん、

「ばかなやつじゃ。考えてみれば、分かることではないか。  
そこからでは、星に届くわけがない。屋根に上がるのじゃ。」

## 注 释:

小僧(こぞう): 小和尚

竹竿(たけざお): 竹竿

振り回す: 摇动, 挥舞

打ち落とす: 打落

屋根(やね): 屋顶

届(とど)く: 够得着



## 摘星星

一天夜里，在一个寺庙的院子里，一个小和尚正在手持长竹竿不住地挥舞。一个大和尚见此情景就问道：

“喂喂！你在那干什么呢？”

小和尚说：“我想要天上的星星，想把它们打落下来，可是一个也打不下来。”

大和尚听了就说：“笨蛋！这不是明摆着的事嘛。你在那里根本就够不着星星，要站到屋顶上去啊。”





## 2.

貧乏でむしろをかぶって寝ている親子、子供がよそでも「むしろ…」というので、「人前では布団と言え」と叱る。

ある日、客に会うため出かけようとする親父に「とうちゃん、ほつぺたに布団がついてるよ」。

### 注 释：

むしろをかぶって寝ている：

叱る：斥责，责备

客に会うため：要去会客

ほつぺた：脸颊



有一对父子由于家里穷，盖着席子睡觉。儿子在外面也老把“席子”挂在嘴上，父亲斥责说：“当着人的面要说‘被子’！”有一天父亲要出门会客，儿子叫道：“爸爸，你脸上粘着被子片儿呢！”



## 3.

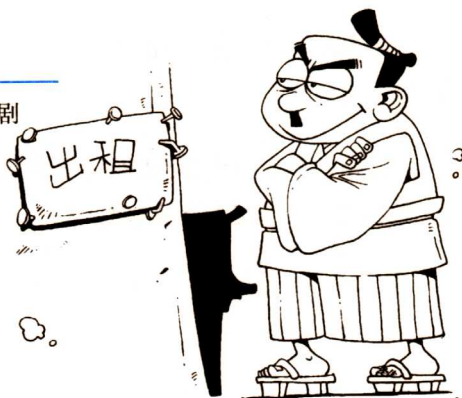
貸家の札をいく度はつても、子どもがいたずらをしてすぐはがしてしまう。そこで、みんなはいろいろ考えた末に、厚い板に「貸家」と書いて、それをくぎでじょうぶに打ち付けて言った。「これで二三年はもつ。」

## 注释：

いたずらをして：淘气，恶作剧

末に：结果

もつ：经得住，可以保持



房主要出租房子，可是出租房屋的标识不管贴出多少次，总是马上被恶作剧的孩子揭下来。对此大家想了很多办法，最后在厚木板上写上“出租”，再用钉子结结实实地钉好。

“这下两三年是揭不掉的啦！”



## 4. 用心

うえき だいす だんな  
植木の大好きな旦那がいました。

ある日、柳の木を十本ばかり庭に植え込みましたが、どうも子供が来て、いたずらをするような気がしてなりません。そこで、用心に、小僧を一人、植木の番につけました。

なんにち た だんな こそう  
何日か経って、旦那が小僧に聞きました。

「子供が来て、夜、柳の木をひっこぬいたりしなかったかい。」

「はい、そういうことがあると困るので、用心のため、夜は、抜いてしまっておきました。」

### 注 释:

植木（うえき）：种树

旦那（だんな）：主人，老板

十本（じゅつぽん）：十棵

子供：小孩子

何日（なんにち）：几天，一段时间

用心のため：以防万一



## 以防万一

从前，有一个非常喜欢种树的老板。

有一天，他在院子里种下了十几棵柳树，可总是觉得小孩子们可能会跑来淘气，于是，为了预防万一，他就派了一个小伙计看守这些树木。

过了几天，店主人问小伙计：

“没有小孩子晚上跑来拔柳树吗？”

“是的，老爷。假如发生了那种事情就麻烦了，为了预防万一，夜晚我都是事先把柳树拔下来的。”





## 5. やぶ医者

向こうから、お医者<sup>いしや</sup>がやってきました。

そこへ店の小僧<sup>こぞう</sup>が、かけてきてぶつかり、医者<sup>いしや</sup>は、弾<sup>はず</sup>みで転<sup>てん</sup>んでしまいました。

「ああ、危<sup>あぶ</sup>ないではないか、これ。」

医者<sup>いしや</sup>は立ち上<sup>た</sup>がって、小僧<sup>こぞう</sup>の襟首<sup>えりくび</sup>をつかまえ、手<sup>て</sup>をあげて叩<sup>たた</sup>こうとしますと、小僧<sup>こぞう</sup>が、

「足<sup>あし</sup>で蹴<sup>すく</sup>るのは構<sup>がま</sup>いませんが、手<sup>て</sup>でぶつのだけは、ご勘弁<sup>かんべん</sup>ください。」

と言<sup>い</sup>います。

医者<sup>いしや</sup>は、可笑<sup>おか</sup>しなことを言<sup>い</sup>うものだと思<sup>おも</sup>って、

「はて、なぜ、そのようなことを言<sup>い</sup>う？」

と聞<sup>き</sup>くと、小僧<sup>こぞう</sup>、

「足<sup>あし</sup>で蹴<sup>け</sup>られても、命<sup>いのち</sup>はなくなりませんが、お手<sup>て</sup>にかかる  
と、とても助<sup>すけ</sup>からないと、もつぱらの評<sup>ひょう</sup>判<sup>ばん</sup>でございますから。」





## 注释：

お医者（いしや）：医生

襟首（えりくび）：脖领子

叩（たた）く：打

足で蹴（け）る：用脚踢

ご勘弁（かんべん）ください：请不要，请勿

評判（ひょうばん）：定评



## 庸医

从对面走来一位医生，正当这时，店里的小伙计跑过来撞上了他，医生一下子被撞倒在地上了。

“多危险啊！”

医生站起来，揪住小伙计的脖颈抬手就要打。小伙计说道：“用脚踢没有关系。请您饶了我，就是别用手打。”

医生觉得他说这话很奇怪，就问他：

“你为什么这么说话？”

小伙计回答说：“挨您脚踢，总不至于丢了性命，人家都说，要是落到您的手里，那可就没救了。”





## 6. 馬に聞いてくれ

久平きゅうべいという、臆病おくびょうな武士ぶしがいました。

ある日、殿様とのさまの命令めいれいで、馬うまの遠乗りとおのりのお供ともをすることに  
なりました。命令めいれいとあつては仕方しかたなく、怖こわいのを我慢がまんして、馬うま  
に乗りのますと、急きゅうに馬うまが走り出でしてしまいました。

久平きゅうべいは必死ひっしになって馬うまにしがみつついていますと、向むこう  
から知しり合あいの武士ぶしがややつてきて、声こゑをかけました。

「やあ、久平きゅうべいどの、どちらでへお出でかけです？」

すると、久平きゅうべいは、

「されば、この分ぶんでは、どちらでへゆくゆくのややら。行ゆく先さきは、馬うま  
に聞きいてきだされ。」

### 注 释:

臆病(おくびょう): 胆小怯懦的

殿様(とのさま): 主人, 殿下

馬の遠乗り(とおのり): 骑马远行

仕方なく: 没有办法

必死(ひっし)になって: 拼命地

我慢する: 忍耐

声をかける: 打招呼

行く先(ゆくさき): 目的地